

令和7年度年間指導計画・評価計画(3年歴史的分野) 担当:新坂

単元									
月	単元名	時数	時限	学習の目標（学習課題） 及び内容	単元			おもな評価規準	
					①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に取り組む態度		
4	3節 明治維新 （2年次の続き）	4	1 5 4	近代国家の成立 「明治政府は近代国家を作るための動きや近代的な国際関係はどのように築かれていたのだろうか」	○	○		①欧米諸国や隣国との外交関係や自由民権運動から大日本帝国憲法制定、国会の開設にいたるまでの政治の流れを理解している。②岩倉使節団の目的や意義について考えている。また、大日本帝国憲法の特徴について考え、当時の選挙と現代の選挙を比較して考えることができる。	
5 6	4節 日清・日露戦争と近代産業	7	5	欧米列強の侵略と条約改正 「欧米諸国と対等な外交関係が結ばれるまでに、どのような動きがあったのか」	○	○		①欧米列強の世界分割の様子から帝国主義の内容を考える日清戦争に至るまでの背景として理解している。②欧米列強の侵略の様子と条約改正の実現で日本が国際的地位を向上させたことを考察し、表現している。	
			6	日清戦争 「日清戦争はどのようにして起こり、日本や清にどのような影響を与えたのか」	○	○		①下関条約の内容と三国干渉の意味を結びつけて理解している。②日清戦争の原因と結果を、朝鮮の支配という観点からとらえ、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。	
			7	日露戦争 「日露戦争はどのようにして起こり、日本や国際社会にどのような影響を与えたのか」	○	○		①日清・日露戦争を経て、日本がアジアに進出していく経緯を、具体的な資料や事例にもとづいて調べることができる。②当時の開戦論と非戦論の論点を比較し、戦争に対する自分の考えをまとめられる。	
			8	韓国と中国 「日清・日露後の韓国と中国ではどのような動きが起こったのか」	○	○		①教科書の写真、地図などを活用しながら、日本による韓国の植民地支配の実態を指摘できる。②日本による韓国の植民地化の過程と、それに対する韓国民衆の抵抗を、具体的な資料や事例にもとづいて考えることができる。	
			9	産業革命の進展 「明治時代の産業はどのように発達し、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか」	○	○	○	①産業革命により、日本でも資本家と労働者、地主と小作人という階級が明確になってきたことを理解している。②産業と資本主義の発展によって、日本で発生した社会問題を考察し、表現している。③日清・日露戦争と近代産業について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
			10	近代文化の形成 「明治時代の文化はどのような特色を持っていたのか」	○	○		①近代文化が形成されたことを、学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解している。②近代文化は、伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたことを考察し、表現している。	
			11	近代への転換点 近代化による国家や社会の変化 「近世から近代になると、どのように日本は変化したのか」	○	○	○	①明治時代の主な歴史的な事象を理解している。②近代化によって、日本の国家や社会はどのように変化したのかを考察し、表現している。③近代（主に明治時代）の日本と世界について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
			12・13	第一次世界大戦とロシア革命 「第一次世界大戦はどのように起こり、終わっていったのか」	○			①第一次世界大戦前の諸国の関係を地図や関係図から読み取り、第一次世界大戦の起きた原因や日本の関わり、第一次大戦とロシア革命との関わりについて理解できる。	
			14・15	国際協調とアジアの民族運動 「第一次世界大戦後、国際関係はどのように変化したのか。また、アジアにはどのような影響があったのか」	○	○		①第一次世界大戦後の国際関係が、戦前とどのように変化したかを理解できる。また、ベルサイユ体制がアジア諸国に与えた影響を理解できる。②ベルサイユ条約の資料から、ドイツがどのような状況に置かれたのかを考察することができる。	
			16	大正デモクラシーと政党内閣の成立 「大正時代の社会や政治の動きはどのようなものか」	○	○		①大正デモクラシーにより、本格的な政党内閣が成立した一連の流れを理解することができる。②人々が力を付けてきた状況について考えることができる。	
			17	広がる社会運動と普通選挙法の実現 「大正デモクラシーとは何か」		○	○	②諸資料から普通選挙法によって有権者数が大きく変化したことを読み取り、大正時代の人々の生活について読み取ることができる。③社会運動が広がった背景を理解することができる。③大正時代の人々の暮らしについて意欲的に追究している	
			18	新しい生活文化 「大正時代の文化はどのような特色があるのか」	○	○		①関東大震災の概要と、大正期の教育と文化の特徴を理解している。②文化の大衆化について、自分の意見や考えを述べている。③大正デモクラシーの時代について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
7 9	第2節 世界恐慌と日本の中国侵略	3	19・20	世界恐慌と各国の対応 「世界恐慌は欧米や日本はどのように影響を与えたのか」	○	○		①植民地や経済圏を利用して立ち直った英仏と植民地を持たない日本やドイツの違いを理解している。②資料から世界恐慌の影響で、それまでの豊かな生活が一変してしまっことに気付く。③政党政治が信頼を失った理由を自分の言葉で述べている。【ICT活用】	
			21	日本の中国侵略 「世界恐慌の影響を受けて、日本はどのように動いていったのか」	○			①政党政治が終わり、軍部が台頭するファシズムの時代になったことを理解している。また、政府が戦争を続けるために、国民の負担を増やし、国民生活にも大きな影響を与えていったことを理解できる。①資料から日本の中国進出を機に国際的に孤立していった状況を読み取っている。【ICT活用】	
	第3節 第二次世界大戦と日本	4	22	第二次世界大戦の始まり 「第二次世界大戦はどのように拡大していったのか」	○	○		①ヨーロッパで起こった戦争の様子を地図や写真から読み取り、原因や経過を理解している。②日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について、国際的な視野を踏まえて考察し、表現している。	
			23	太平洋戦争の開始 「なぜ、日本は太平洋戦争をはじめてしまったのか」		○		②日本が太平洋戦争に突入した理由について、日米の国力差や資源の量、占領した地域と関連付けて考察し、表現している。	
			24・25	戦時下の人々と戦争の終結 「戦時下の暮らしと戦争終結までの動きはどのようなものか」	○	○	○	①イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。②戦争と国民への影響について関心を持ち、自分の意見を述べている。③第二次世界大戦と日本について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。【ICT活用】	
9 10	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の発展と国際社会	8	26・27	近代の大観 「近代とはどのような時代だったのか」	○	○		②主に大正時代から昭和時代の特徴を他の時代と比較したり、現代と関連付けたりして考察し、近代の日本を3〜4つのカテゴリに分けてワークシートにまとめることができる。戦争へのターニングポイントを考えることで、近代という時代の特色を考察し、表現している。③近代の日本と世界について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
			28	戦後日本の歩みを考えよう 「戦後、日本はどのように変化したのか」	○	○	○	①資料の読み解きや比較から、この時代の特色を読み取っている。（知技） ③ 戦後の日本はどのように発展してきたかという探究課題について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	
			29	占領下の日本と民主化 「終戦直後の日本はどのような状況だったのか」	○	○		①資料から戦前・戦後を比較して、改革による変化をとらえている。また、戦後の諸改革により、現代日本の骨組みが形成されたことに気付いている。②資料を主体的にとらえ、国民の平和への願いや民主主義への期待、生活の変化を考えようとしている。	
			30・31	冷戦の開始と植民地の解放 「冷戦とは何か」	○	○		①冷戦がヨーロッパから始まり、中華人民共和国の成立など東欧以外でも社会主義国建設の動きがあったことを理解している。②冷戦という新たな国際体制の成立と影響を、アメリカとソ連の動向を基に、多面的・多角的に考察している。	
			32	独立の回復と55年体制 「冷戦は日本にどのような影響を与えたのか」	○	○		①冷戦下で日本の占領政策にも大きな変化が生じたことを理解している。②冷戦の影響について事実を踏まえ、自分の意見を述べることができる。	
			33	緊張緩和と日本外交 「日本はどのようにして諸外国との関係を回復していったのか」		○	○	②今日的な課題を認識し、近隣諸国との良い関係を考えようとしている。③日本の外交関係の変化を、冷戦の緩和と関連付けながら考察し、表現している。	
			34	日本の高度成長期の光と陰 「高度経済成長期の日本はどのような状況だったのか」	○	○		①日本経済の歩みの中で、公害問題や貿易摩擦などの様々な問題が発生し、それを乗り越える努力をして生きたことを理解している。②日本の経済成長が国外的にも国内的にも功績と軋轢を生んでいることを考察し、表現している。	
			35	マスメディアと現代の文化 「高度成長期が生み出した文化はどのようなものか」	○	○	○	①マスメディアが社会の発展とともに変化した、重要な文化となったことを理解している。②テレビ放送やアニメなどの技術が進歩することで、マスメディアが国民生活に深く関わるようになったことを考察し、表現している。③戦後の日本や国民生活の変化の様子を、学習を振り返りながら明らかに	
	第2節 新たな時代の日本と世界	2	36・37	冷戦後の国際社会と日本 「冷戦はどのように終結し、その後の世界はどうなっていたのか」	○	○		①年表から冷戦終結への歩みを読み取り、理解している。②新しい外交関係が築かれたこととともに、米軍基地問題など今日的な課題についても考えようとしている。②地域紛争やその理由について考えるときにも、南北問題の存在や日本の果たす役割について考えることができる。【ICT活用】	
			38	現代の大観 「戦後の世界や日本についてまとめよう」		○		②現代の日本や世界はどのような時代であったのかを考え、ワークシートに自分の言葉で記入することができる。「現代の日本と世界」が大観できるようにワークシートにまとめることができる。	
7	京都・奈良の文化遺産	1	39	古都奈良・京都の文化遺産の復習	○	○		①1年次に学習した法隆寺に関する歴史的な知識を身につけている。③修学旅行の中で世界遺産である法隆寺を関心を持って見学している。【ICT活用】	
	補充的な学習	1	40	理解が不足している単元の補充学習など	○			①生徒の理解が不足している部分について、ワークシート等を用いて理解を定着させていく。	

40

観点	観点の内容	評価方法
① 知識・技能	近代から現代に関する諸資料を適切に読み取り、社会的事象に対する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	定期考査・ワークシート
② 思考判断表現	・近代から現代に関する歴史の流れや影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・政治の仕組みや産業の変化、新しい文化の誕生といった社会の変化について多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査・ワークシート
③ 主体的に取り組む	近代から現代の歴史の流れに関する諸課題について意欲的に追究している。	ワークシート

それぞれの観点ごとに 80%以上ならA、50%以上ならB、50%未満ならCという評価になる。
評定は全ての観点の点数を合計して、90%以上なら5、80%以上なら4、50%以上なら3、20%以上なら2、20%未満は1となる。